

# 「五葉山の魅力」

五葉山自然倶楽部  
創立10周年に寄せて

38

それは、いまから十五年程も前に起きた晩秋のある日の出来事である。

当時、五葉山の檜山登山道を登り始めたあたり

に作業小屋があり(現在はあすなろ山荘という山小屋が建っているという)、その前の広場に防火用水と思われる溜池が掘られていた。

いまになっても信じられないことだが、この堀の斜面に片足を取られた弾みで体のバランスを崩し、溝面に水を湛えた溜池の中に飛び込む羽目になった。

幸い落ちたあたりはそれほど深くなかったので溺れることはなかったが、構えていたカメラもろともに頭から足の先まですぶ濡れになって、ようやく這い上がった。

いい歳をした大人がほんとうに恥ずかしい話である。絵に描いた河童のような姿で池から上がった姿に笑うに笑えず、そしてなんと慰めていいのか言葉も失った役場職員の表情を、いまでも忘れ

ることはできない。

この後、残っていた調査もほとんどに急ぎ下山し、同道した役場職員から借用した作業服に着替

えて盛岡へ帰った。

この後、この話は役場内にあまねく知れ渡ったとみえて、会議などで会う職員それぞれに「あの時は大変でしたね」と、親愛のまなざしで同情されることになった。

お陰で職員ともそれまで以上に打ち解けて話ができるようになり、調査研究も円滑に進めることができたように思う。

この些か無情な出来事も、いま思えば五葉山の神様が与えてくれた「有難いお恵み」ということであつたであらうか。そう言えは、あの溜池の近くに鳥居が立っていたよ

## 山ノ神様の「お恵み」

盛岡市三ツ割

猪内 正雄

今に受け継ぎ立派な人工林を造成しているが、この森林に高効率でしかも環境に優しい独自の伐採作業方法によって低コストで木材を生産している。

いま世界中が先行き不透明な経済情勢にある中、住田町が地域の森林資源を生かして環境の保全と資源の再生が可能な産業を振興し、物、心ともに豊かな地域として自立し発展することを期待している。

また、この木材を町内の工場で柱や板に集成加工して付加価値をつけて販売するとともに、それらを使って住宅を建築し

て販売している。

このような、一次産業から三次産業までの一貫した振興策が実を結んで地域の振興に役立っているほか、最近では林内や加工場の残廃材をバイオマスエネルギーとして利用することにも成功しているが、これら一連の取り組みはいまや全国的にも注目されるまでになっ

った五葉山登山を今年こそは実現し、有難いお恵みを頂いた山ノ神様に感謝したいと思っている。

あの出来事があつた時の調査にも関係する森林公園が、今どれ程見事に整備されているかを確かめるのも楽しみである。

【執筆者プロフィール】

猪内 正雄

住田町

住田町

住田町

つた五葉山登山を今年こそは実現し、有難いお恵みを頂いた山ノ神様に感謝したいと思っている。

あ、の出来事があつた時の調査にも関係する森林公園が、今どれ程見事に整備されているかを確かめるのも楽しみである。

【執筆者プロフィール】

猪内 正雄

住田町

住田町

住田町



軽架線装置を備えた搬出機械による集材作業＝住田町内の急峻地